



毎月第3日曜は「家庭の日」

子育てにおいて家庭が果たす役割は大変重要です。そこで、家族のきずなを大切にす日として、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、併せて月別の取組みテーマを提案しています。

【月別テーマ】

- 4月 「社会のルールやマナーを身につける」
- 5月 家族と一緒に過ごす時間を増やす
- 6月 家族みんなで自然に親しむ
- 7月 夏休みの交通事故や水の事故、子どもの非行を防ぐ
- 8月 地域の人々とふれあい、交流を深める
- 9月 お年寄りを敬い、お互いを思いやる

山形県青少年育成県民会議の活動にご理解とご協力をお願いします

青少年のための環境づくり懇談会

11月11日（金）に県庁講堂にて「令和4年度青少年のための環境づくり懇談会」を開催しました。本県の未来を担う青少年の健全育成を図るため、関係業界や団体代表者、市町村担当者等約60名が一堂に会し、青少年にとって好ましい社会環境づくりについて話し合いました。

はじめに県の関係各課の担当者が少年補導や風俗環境、インターネットを介した詐欺やSNSを使った犯罪などについて報告。続いて、若年層の薬物乱用の現状と啓発、本県におけるいじめの現状などについて質疑が行われました。

最後に、青少年に関連する業界の共通認識として「令和4年度青少年のための環境づくり懇談会申し合わせ事項」が承認、決定され、参加者各位がこれに基づき、今後の青少年を取り巻く環境の浄化に取り組むことを確認しました。



地域の大人のためのインターネット利用に関する研修会

11月11日（金）、県庁講堂で「地域の大人のためのインターネット利用に関する研修会」を開催し、県内青少年育成関係機関職員や学校関係者等約50名が参加しました。

山形大学地域教育文化学部附属教職研究総合センター客員准教授であり、山形県公認心理士・臨床心理士協会会長である伊藤洋子氏が「ネット世代の子どもたちの現状と心のケアについて～地域の大人はどのように寄り添っていくか～」と題して講演。中学生の8割がスマホを持ち、小学6年生でもその所有率は5割を超えているという現状から、ネットやSNSを介した犯罪被害から子どもたちを守る教育について社会全体で取り組んでいくことが重要であり、自分から「助けて」と言えるスキルや信頼関係を育てていくことが大人の役割であると語りました。



2022 輝く県民活躍大賞受賞式を開催しました（1月20日）

【受賞団体】

- ジュニア・ユース部門（2団体）
- 若者部門（2団体）
- 一般社会貢献部門（3団体）

南陽市中高生ボランティアサークル にじ、
三川町中高生ボランティアサークル 来夢来人
ボランティアサークルポプラ、
山形大学模擬裁判実行委員会
羽州街道「櫓下宿」研究会、SKIT かほく、
公益社団法人山形県看護協会



山形県青少年育成県民会議入会のお願い

次世代を担う青少年の健全育成を図るため、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動やいじめ・非行をなくそう、やまがた県民運動を展開しています。当会議の活動は、皆さんからの会費によって支えられています。活動や趣旨にご賛同・ご協力いただける新規会員の方を募集しております。機関誌をご覧になっている皆様からも、ぜひお声がけをお願いいたします。

☆会員の種類と会費

- ・特別会員（1口3万円）
- ・賛助会員（1口5千円）
- ・団体会員（1口1千円）
- ・個人会員（1口1千円）



問合せ・申込み先

山形県青少年育成県民会議事務局
（県女性・若者活躍推進課内）
TEL：023-630-2727
FAX：023-632-8238



見守る目・育む芽 48

目次	P1 全県版「高校生と地域の大人の対話会」を開催しました	P2 「高校生と地域の大人の対話会」参加者インタビュー	P2・3 「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動 10年間の歩み	P4 お知らせ
----	------------------------------	-----------------------------	------------------------------------	---------

“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動10年目企画事業 全県版「高校生と地域の大人の対話会」を開催しました



当県民運動は今年度で10年目を迎え、企画事業として、平成28年度から県内4地区で開催している「児童・生徒と地域の大人の対話会」の参加者から代表者を参集し、1月28日（土）、全県版の対話会をオンラインで開催しました。

対話会コーディネーターにFMラジオ等で活躍するフリーパーソナリティの岩田マキ氏を迎え、各地区サテライト会場に集まった参加者の皆さんとトークセッションを行いました。各地区で実施した対話会の内容発表を踏まえ、「いじめ」「明るい地域」「居場所」「校則・ネットマナー」の4テーマについて、それぞれが感じていることや思いなどを交換。最後に、高校生から大人や地域社会に望む提言を発表してもらい、今後の運動展開に活かしていくことを確認しました。

※2ページ目に参加者インタビュー記事を掲載。



トークセッションのコーディネーターを務めた岩田マキ氏



最後にマスクを取って、参加者の皆さんで記念撮影

○参加者（敬称略）

【村山地区】

・上山明新館高等学校

2年 青戸 翔汰朗

2年 押切 悠仁

1年 伊藤 舞姫

・上山地区少年補導員連絡会

会長 ひらき 信行

副会長 すずき 万四郎

【最上地区】

・新庄南高等学校

3年 佐藤 雛

3年 多賀部 秀斗

・最上地区青少年育成連絡協議会

会長 こまつ 功

副会長 信夫 貴吉

【置賜地区】

・米沢商業高等学校

3年 あいた 穂乃華

3年 かとう 優花

3年 こまつ 連壽

・米沢市コミュニティ活動推進員連絡協議会

会長 すずき 美由紀

委員 かとう 里美

【庄内地区】

・加茂水産高等学校

3年 おおやぎ 天孔

3年 かとう 祐希

・鶴岡地区少年補導員連絡会

補導員 すがわら やい子

対話会 参加者インタビュー

各地区の対話会及び全県版対話会に参加した皆さんに感想などを伺いました。

村山地区

上山明新館高等学校
1年
伊藤 舞姫 さん



対話会に参加してみたいかがでしたか。

違う学校の生徒や大人の意見をたくさん聞くことができ、新たな知識やさまざまな考え方に触れ、視野を広げることができました。ここで得た新たな視点や考え方を、私たち生徒会執行部が率先して学校行事や各種委員会活動に活かし、多くの生徒が充実した学校生活を送れるように頑張ります。

当県民運動の活動について、普段どのようなことを心がけていますか。又はどのような活動を実践していますか。

生徒間でネットやSNSでのトラブルが増えたように感じます。普段から言葉使いや行動に責任を持って生活していますが、最近はネットやSNSにおいても、発信する前に誰かを傷つけたりする内容になっていないかを確認するようにしました。今後は生徒会執行部としても「スマホ利用のマナー向上」につながる取り組みを行い、いじめ防止につなげたいと思います。

置賜地区

米沢市コミュニティ活動推進員
連絡協議会会長
鈴木 美由紀 さん



対話会に参加してみたいかがでしたか。

普段は聞く事のできない高校生のリアルな声に驚きました。自分の気持ちや悩みなど、気軽にネットでやりとりしていると思っていたが、ネットよりリアルを大切にしていること、年代問わず周りの人たちともしっかり関わりたいと思っていること、社会や未来について熱く真剣に考えていることなど、とても頼もしく感じました。

当県民運動の活動について、普段どのようなことを心がけていますか。又はどのような活動を実践していますか。

学校行事や地域行事、ボランティア活動などで、子ども達の気遣いを誉めたり、相槌をうったり、成功に拍手したりと、ちょっとしたことで声掛けをするよう心がけています。参加後に、充実していたな・また参加したいな等、自信がついて、今後の生活にもちょっとやる気が出たりしてくれたら嬉しいです。

最上地区

最上地区青少年育成連絡協議会
副会長
信夫 貴吉 さん



対話会に参加してみたいかがでしたか。

「いじめは大人に相談しにくい」「定期的な確認や話しやすい大人の存在が重要」など、高校生の本音と考えを聞くことができて良かったです。また、大人と直接話す機会を増やすべきとの話もありました。もっといろんな話を深め、問題を一緒に解決し、みんなが幸せになれる世の中にしていきたいと思います。

当県民運動の活動について、普段どのようなことを心がけていますか。又はどのような活動を実践していますか。

普段は見守ること、認めることを心がけています。地元の舟形町の高校生と一緒に清掃活動やあいさつ運動で交流したり、いじめ防止標語の審査も高校生と行っています。個人では命の大切さを伝える活動もしており、昨年は県外の高校で講演も行いました。

庄内地区

加茂水産高等学校
3年
加藤 祐希 さん



対話会に参加してみたいかがでしたか。

対面で実施出来たらもっと良かったかなと思いますが、多くの方がサポートをしてくださったお陰で、戸惑いながらもオンラインで対応することができました。通常ならなかなか会えることも、通学ですれ違うこともない、離れた場所にいる高校生の意見を聞けたことは、とても有意義だったと思います。

当県民運動の活動について、普段どのようなことを心がけていますか。又はどのような活動を実践していますか。

スマートフォンやSNS等、インターネット上での誹謗中傷は自分も気になっているところで、対話会でも発言させていただきました。自分がやらないということは当たり前ですが、意識して生活していけたらと思います。

～「春のあんしんネット・新学期一斉行動」を実施しています～ 2月～5月

「春のあんしんネット・新学期一斉行動」

2月～5月は卒業・進学・新入学の季節です。国や県の関係機関ではこの期間に重点を置き、スマートフォン等の安全・安心な利用のための働きかけを連携して行っています。

青少年のインターネット利用状況

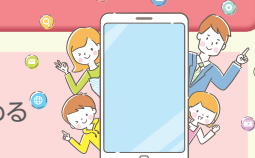


県教育委員会の調査によると、児童生徒のインターネット接続機器の所有率は非常に高く、動画視聴やゲームに加えて、読書やオンラインでの学習等、その使い方も多様化しています。また、GIGAスクール構想による1人1台端末の配置が進み、家庭への持ち帰りなどネット利用の機会が更に増えている一方で、フィルタリングの設定率は4～5割程度と低い状況です。学校、家庭、地域が連携してネットモラル教育や見守りを進める必要性が高まっています。

我が家の「インターネット・スマホ利用のルール」を作しましょう

【ルール作りの例】

- ・利用する時間帯や、置き場所を決める
- ・パスワードは保護者が管理する
- ・ネットで知り合った人に、自分の名前や住所、連絡先を教えない
- ・悩みやトラブルは必ず保護者に相談する

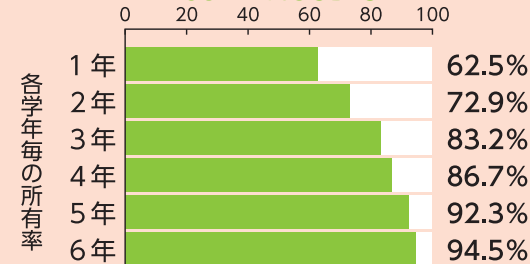


親子双方で意見を出し合い、お互いが納得し、尊重しあえるルールを作しましょう。お子様の成長や生活習慣の変化に合わせて、ルールの見直しをすることも大切です。また、フィルタリング設定（※）等の機能を活用するのも有効です。

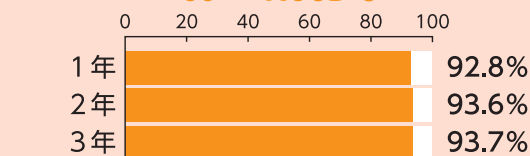
（※）有害なアプリ利用やサイト閲覧を制限できます。機能の詳細は販売店等で確認ください。

① インターネットにつながるICT機器（※）の所有率

小学生 全体の所有率 **82.4%**

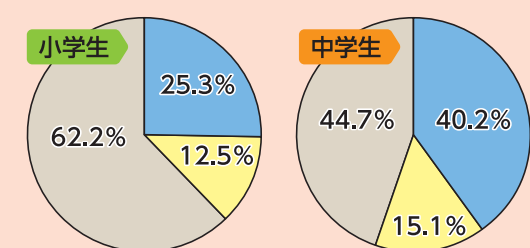


中学生 全体の所有率 **93.4%**



（※）主にパソコン、タブレット、携帯電話（スマートフォン含む）、ゲーム機、音楽プレーヤー等

② フィルタリング設定率



■ フィルタリングしている ■ フィルタリングしているものもある
□ フィルタリングしていない

情報端末の使用状況及び学校における指導状況
（令和4年度 県教育委員会定期調査より）

いじめ・非行をなくそう やまがた県民運動10年間の歩み

開始年度	事業
H25	・県民運動の展開開始 ・テレビCM作成～スポット放送（～H26）…① ・「いじめ防止標語」「標語ポスターデザイン」の募集
26	・「いじめ防止スローガン」の作成推進…② ・高校生サミットの開催（～H27）
27	・県民運動シンボルマークデザインの募集～決定…③
28	・「児童・生徒と地域の大人の対話会」の開催 ・「いじめ・非行防止セミナー」の開催
?	各種事業を継続して実施
R4	・県民運動開始10年目 ・全県版「高校生と地域の大人の対話会」の開催（関連記事P1～P2に掲載）

事業①～③の詳細について紹介

① テレビCM作成～スポット放送

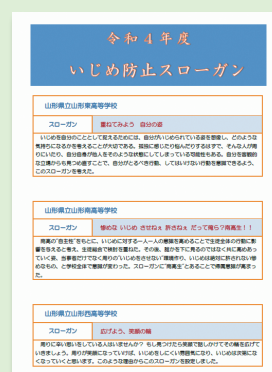


県民運動を開始した平成25年度、翌26年度には、運動のPRを強力に推し進めるため、テレビコマーシャルが作成されました。平成25年度はタレント起用で注目度をアップし、26年度はその年の優秀標語4作品を元に作成しました。

26年度作成のCMは現在もYouTubeで見ることができますので、ぜひご覧ください。（右QRコード参照）



② 「いじめ防止スローガン」の作成推進



県内各高等学校において「いじめ防止」について学校単位で取組むテーマとして、生徒会等を中心にスローガンの作成を推進しています。スローガンは学校全体で共有し、様々な取組みを自主的に行っていただいています。

平成26年度から毎年度募集しており、令和4年度は、公立校52校、私立校3校で作成されました。作成されたスローガンは、山形県青少年育成県民会議で取りまとめ、ホームページ(<https://yamagata-seishonen.jp>)に掲載しています。

山形県青少年育成県民会議

③ 県民運動シンボルマーク



小林 さくらさん 県立山形東高等学校1年(当時) 作

平成27年度に、当県民運動のシンボルマークのデザインを県内高等学校に募集し、決定しました。

双葉のモチーフには「友情の芽生え」、手を取り合っている姿には、「助け合うことの大切さ」が表現されています。

シンボルマークを基に普及啓発用の缶バッジを作成し、山形県青少年育成県民会議において現在も広く配布しています。地域の中で、また日常生活の中で当県民運動を目にする機会を増やし、活動をPRしています。